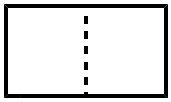
退職公務員生活状況調査調査票

Ａ　基本的事項について

問１　性別

男	1
女	2

問２　現在の居住地



問３　定年退職時の所属府省又は行政執行法人

会計検査院	1	文部科学省	２２
内閣官房	2	スポーツ庁	２３
内閣法制局	3	文化庁	２４
人事院	4	厚生労働省	２５
内閣府	5	中央労働委員会	２６
宮内庁	6	農林水産省	２７
公正取引委員会	7	林野庁	２８
警察庁	8	水産庁	２９
個人情報保護委員会	9	経済産業省	３０
金融庁	１０	資源エネルギー庁	３１
消費者庁	１１	特許庁	３２
復興庁	１２	中小企業庁	３３
総務省	１３	国土交通省	３４
公害等調整委員会	１４	観光庁	３５
消防庁	１５	気象庁	３６
法務省	１６	運輸安全委員会	３７
公安審査委員会	１７	海上保安庁	３８
公安調査庁	１８	環境省	３９
外務省	１９	原子力規制委員会	４０
財務省	２０	防衛省（一般職）	４１
国税庁	２１	防衛装備庁（一般職）	４２

(独)国立公文書館	５０
(独)統計センター	
(独)造幣局	
(独)国立印刷局	
(独)農林水産消費安全技術センター	
(独)製品評価技術基盤機構	
(独)駐留軍等労働者労務管理機構	

問５へ

問４(1)及び(2)は、定年退職時に給与法の適用を受けていた方のみ記入してください。
定年退職時に行政執行法人に所属していた方は記入しないでください。

問４(1) 定年退職時の適用俸給表

行政職（一）	1	海事職（一）	7	医療職（二）	１３
行政職（二）	2	海事職（二）	8	医療職（三）	１４
専門行政職	3	教育職（一）	9	福祉職	１５
税務職	4	教育職（二）	１０	専門スタッフ職	１６
公安職（一）	5	研究職	１１	指定職	１７
公安職（二）	6	医療職（一）	１２		

(2) 定年退職時の職務の級

問５　定年退職時までの国家公務員としての勤続年数

	年		月

Ｂ　定年退職時の就労希望状況について

問６　定年退職後も働きたいと

思った	1	→ **問７へ**
思わなかった	2	→ **問８へ**

問７(1) 働きたいと思った理由（**複数回答可**）

生活費が必要	1
将来に備えて蓄える	2
自分の自由になる収入を得る	3
子供や他の家族に負担をかけない	4
仕事に生きがいを感じる	5
仕事を通じて社会に貢献したい	6
健康に良い	7
その他（　　）	8

問７(2) 働きたいと思った勤務形態

フルタイム勤務	1
１日当たりの勤務時間を減らした短時間勤務	2
週当たりの勤務日数を減らした短時間勤務	3
勤務時間及び勤務日数を減らした短時間勤務	4
問わなかった	5

(3) 何歳くらいまで働きたいと思ったか

	歳くらいまで

(4) 定年退職後に、最も働きたいと思った就労先

国の機関（行政執行法人を含む。）のフルタイム・短時間再任用職員	1	→ (5)へ
国の機関（行政執行法人を含む。）の非常勤職員等	2	→ 問８へ
政府関係機関・地方公共団体等	3	
民間企業	4	
自営業（農業を含む。）	5	
問わなかった	6	
その他	7	

(5) 再任用職員として働きたいと思った理由（**複数回答可**）

在職中の知識・経験等を活用したい	1
慣れ親しんだ職場で働きたい	2
給与、勤務時間等の勤務条件が自分の希望に合っている	3
雇用情勢が厳しいなど、公務外への就職は難しい	4
公務外に就職するためのノウハウがなく不安	5
その他	6

(6) 再任用の希望に際し重視した事項（**複数回答可**）

勤務地	1
仕事内容	2
ポスト・格付け	3
給　与	4
勤務形態（フルタイム又は短時間）・勤務時間	5
その他（　　）	6

問８　再任用希望調査における再任用の希望

フルタイム勤務での再任用を希望した	1	→ 問10へ
短時間勤務での再任用を希望した	2	
再任用を希望したが、その後辞退した	3	→ 問９へ
再任用を希望しなかった	4	
再任用希望調査がなかった	5	→ 問10へ

問９は、問８で３「再任用を希望したが、その後辞退した」、４「再任用を希望しなかった」を選択された方のみお答えください。

問９　再任用を希望しなかった理由又は希望後に辞退した理由（**複数回答可**）

これ以上働くつもりがない	1
他にやりたいことがある	2
民間企業・自営業で働く	3
独立行政法人（行政執行法人を除く。）で働く	4
国の機関（行政執行法人を含む。）の非常勤職員等として働く	5
自分の健康状態に不安がある	6
家族の健康状態など家庭の事情を抱えている	7
再任用の勤務地や官署が、希望と合わない	8
再任用の仕事内容やポストが、希望と合わない	9
再任用の勤務形態（フルタイム又は短時間）・勤務時間が、希望と合わない	A
再任用の給与などの処遇が、希望と合わない	B
自分が再任用されることで新規採用が抑制される等、組織の迷惑になる	C
かつての部下の下では働きたくない	D
勤務先から再任用の情報提供が不十分であったなど、希望を申し出難い状況だった	E
その他（　　）	F

Ｃ　現在の就労状況について

問10　現在、収入を伴う仕事に

就いている	1	→ 問12へ
就いていない	2	→ 問11へ

問11　現在、収入を伴う仕事に就いていない理由（**複数回答可**）

他にやりたいことがある	1
しばらく休んだ後、また考えたい	2
就労を希望したが適当な仕事に就けない、求職中	3
働かなくても生活していける	4
自分の健康状態に不安がある	5
家族の健康状態など家庭の事情を抱えている	6
仕事をするのがきつい	7
働きたくない・仕事をする意欲がない	8
その他	9

→ **問21へ**

問12　現在の就労先

国の機関（行政執行法人を含む。）のフルタイム・短時間再任用職員	1
国の機関（行政執行法人を含む。）の非常勤職員等	2
中期目標管理法人、国立研究開発法人、国立大学法人、大学共同利用機関法人	3
地方公共団体、地方独立行政法人	4
特殊法人・認可法人（沖縄振興開発金融公庫等）	5
学校、医療機関（１～５を除く。）	6
公益社団法人、公益財団法人	7
一般社団法人、一般財団法人	8
民間企業	9
自営業（農業を含む。）	１０
その他	１１

→ **問21へ**

問13(1)　現在の就労先における勤務形態

フルタイム勤務	1 → **(4)へ**
短時間勤務	2 → **(2)へ**

問13(2) 一週間当たりの平均の勤務日数及び勤務時間（**両方記入**）

週 [　　] 日勤務

週 [　　] 時間 [　　] 分 [　　] 秒

(3) 短時間勤務となった主な事情

趣味、ボランティアなど仕事以外にやりたいことがあった	1
定年退職で一区切りついたので、仕事量を減らしたいと思った	2
自分の健康状態を考慮した	3
家族の健康状態など家庭の事情を考慮した	4
フルタイム再任用を希望したが、提示されたフルタイム官職の勤務地やポスト等が、希望と合致しなかった	5
自分がフルタイム再任用されることで新規採用が抑制される等、組織に迷惑がかかると思った	6
フルタイム再任用を希望したが、フルタイム官職に再任用することが困難であるとされた	7
その他（　　）	8

(4) 通勤時間

３０分未満	1
３０分以上１時間未満	2
１時間以上１時間３０分未満	3
１時間３０分以上２時間未満	4
２時間以上	5

問14、問15、問16及び問17は、再任用された方のみお答えください。

問14(1) 再任用後の官署

定年退職時と同じ官署	1
定年退職時の官署と同一都道府県内にある他の官署	2
定年退職時の官署と異なる都道府県内にある官署	3

問14(2) 再任用に伴う転居の状況

転居した（希望した勤務地）	1
転居した（希望以外の勤務地）	2
定年退職時の住居から転居していない	3

(3) 再任用後の単身赴任手当の受給の有無

受給している	1
受給していない	2

問15　仕事内容・ポストは、あなたの知識、経験を

大いに活用できる	1
活用できる	2
どちらともいえない	3
あまり活用できない	4
活用できない	5

問16　再任用についての満足度

項　　目	満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
①勤務地	1	2	3	4	5
②仕事内容	1	2	3	4	5
③ポスト・格付け	1	2	3	4	5
④給与	1	2	3	4	5
⑤勤務形態・勤務時間	1	2	3	4	5

問17　再任用という働き方の課題や問題点（１～９は複数回答可）

定年退職前のようにモチベーションを維持できない	1
期待されている役割があいまいで、戸惑うことがある	2
後輩や若い世代との人間関係構築が難しい	3
継続的なプロジェクトに参画できないことがある	4
軽微な業務の割り当てしかないなど、やりがいを感じられない	5
給与、福利・厚生の面での処遇が十分でない	6
これまでの経験や知識を十分に活かせない	7
短時間の再任用だと仕事が回らない	8
その他（　　）	9
特に課題や問題点を感じていない	A

問18は、給与法適用職員として再任用された方のみお答えください。

問18(1) 再任用後の適用俸給表

行政職（一）	1	海事職（一）	7	医療職（二）	１３
行政職（二）	2	海事職（二）	8	医療職（三）	１４
専門行政職	3	教育職（一）	9	福祉職	１５
税務職	4	教育職（二）	１０	専門スタッフ職	１６
公安職（一）	5	研究職	１１	指定職	１７
公安職（二）	6	医療職（一）	１２		

(2) 再任用後の職務の級

(3) 再任用後のポスト

ラインの役職	1
スタッフ・専門職	2
係員	3

問19及び問20は、政府関係機関・地方公共団体等又は民間企業で就労されている方のみお答えください。

問19　現在の職種

役員（取締役、監査役、執行役員）、顧問、相談役等	1
事務系業務（管理職を含む。）	2
技術系業務（管理職を含む。）	3
専門職（医師、看護師、教師、司法書士、税理士等）	4
販売、外交	5
技能職（運転手、電工、ボイラー技師等）	6
労務職（管理人、守衛、警備員等）	7
その他	8

問20　現在の仕事を探した方法

ハローワーク、人材紹介所等のあっせん	1
新聞、情報誌、インターネット等の求人情報を見て応募	2
友人、知人の紹介	3
家族、親戚の紹介	4
その他	5

D　家族、家計について

問21(1)　同居の家族（**１～５は複数回答可**）

配偶者	1
独身の子	2
既婚の子とその家族	3
親	4
その他	5
なし	6

(2)　あなたを含めた人数　　人

(3)　そのうち、あなたが扶養している人数　　人

いない場合は「０」人と記入してください。

問22(1) あなたの本年８月の収入

① 給与収入	１ヶ月 約		万円
② 公的年金以外の年金収入	１ヶ月 約		万円
合　　計	約		万円

(2) あなたの平成29年4月～平成30年3月までの１年間の給与収入見込み額の総額及びボーナス

１年間の給与収入見込み額の総額			うち ボーナス		
約		万円	約		万円

(3) あなたの(1)②の公的年金以外の年金収入及び(2)の給与収入以外の家族の１年間（平成29年４月～平成30年３月）の収入見込み額

配偶者の	③	給与収入(含ボーナス)	年間 約	万円
	④	年金収入	年間 約	万円
他の家族からの	⑤	収入、送金等	年間 約	万円
あなたと、あなたの同居の家族の	⑥	事業収入	年間 約	万円
	⑦	その他の収入	年間 約	万円

問23(1) あなたの世帯（同居の家族）の、本年８月１ヶ月間の家計支出

① 食料	約		万円
② 住居 （家賃・ローン返済額を含む）	約		万円
③ 光熱・水道	約		万円
④ 日用雑貨等	約		万円
⑤ 保健医療	約		万円
⑥ 交通・通信	約		万円
⑦ 子どもの教育	約		万円
⑧ 教養娯楽	約		万円
⑨ 税金（所得税、住民税等）	約		万円
⑩ 社会保険料	約		万円
⑪ その他	約		万円
合　　計			万円

(2) あなたの住居の種類

自宅（ローン返済済み又は返済なし）	1
自宅（ローン返済中）	2
公営・公団賃貸住宅、民間借家・借間	3
公務員宿舎	4
その他	5

問24(1) あなたの世帯の家計の状況

十分ゆとりがある	1	→ 問25へ
いくらかゆとりがある	2	
ゆとりはないが、赤字でもない	3	
毎月のやりくりに苦労しており、時々赤字が出る	4	→ 問24(2)へ
どうやりくりしても、常に赤字が出て生活が苦しい	5	

問24(2) 赤字が出る場合の対応（**複数回答可**）

退職手当を取り崩す	1
退職手当以外の預貯金等を取り崩す	2
資産を売却する	3
自分が新たに就労する又は就労日数等を増やす	4
配偶者、同居の家族が新たに就労する又は就労日数等を増やす	5
子供等から新たに仕送りを受ける又は仕送りを増やしてもらう	6
節約を徹底する	7

問25は、夫婦二人世帯の方のみお答えください。

問25　定年退職後、夫婦二人世帯で、ゆとりある生活を送るためには、生活費は１ヶ月当たりどのくらい必要だと思うか

約 [　　] 万円

問26　退職手当の使用予定は

①　住宅・土地の取得、住宅の増・改築 （既に取得した住宅・土地や増・改築した住宅に対するローン返済も含む。）	総額の約		%
②　車・家具等の耐久消費財の購入	総額の約		%
③　子供の教育・結婚等費用	総額の約		%
④　海外旅行・国内旅行費用	総額の約		%
⑤　日常生活費への充当	総額の約		%
⑥　老後やいざという時の備え	総額の約		%
⑦　その他・未定	総額の約		%
合　計		１００	%

Ｅ　その他

問27(1) 定年退職後の生活や生涯設計について考えるようになった時期

20歳台	1
30歳台	2
40歳台	3
50歳台前半	4
50歳台後半	5
60歳（定年退職となる年度）	6

(2) 定年退職後の生活や生涯設計について考えるようになったきっかけ（１～７は複数回答可）

生涯設計セミナーや退職準備プログラムなどのセミナーに出席して	1
人事担当者から人事に関する意向調査（再任用希望調査を含む。）を受けて	2
定年退職予定通知を受けて	3
再任用制度などに関するパンフレットや冊子を読んで	4
実際に勤務している再任用職員など先輩職員から話を聞いて	5
自分の年金支給開始年齢を知って	6
その他（　　）	7
特にきっかけはない	8

(3) ご自身の退職共済年金（報酬比例部分）の支給開始年齢をいつ知ったか

５０歳より前	1
５０歳台前半	2
５０歳台後半	3
６０歳（定年退職となる年度）	4

問28　今後の生活で気にかかることや、不安に思うこと（１～９は複数回答可）

日常の生活費などの家計	1
住宅の取得、ローンなどの返済	2
住宅の修繕・補修	3
自分の再就職	4
自分の健康	5
家族の健康や介護	6
家族や地域の人との人間関係	7
子供の就職・結婚など	8
その他	9
特にない	A

問29　定年退職前にもっと知っておけば良かったと思うこと（**１～Ａは複数回答可**）

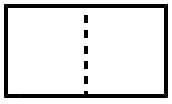
年金、保険などの知識	1
退職金などの資産運用の知識	2
税金、相続などの法律の知識	3
再任用制度についての知識	4
民間企業への再就職の情報	5
余暇活用についての知識	6
ボランティアなどの社会参加の方法	7
健康管理、体力維持などの知識	8
人生観、定年退職後の生活の心構え	9
その他	A
特にない	B

問30(1) 公務に適切と考える今後の高齢期雇用制度

定年年齢の引上げ（一律）	1	→ **(2)へ**
定年年齢の引上げ（選択制）と現行の再任用制度（短時間再任用を含む。）の併用	2	→ **(2)へ**
定年制の廃止	3	→ **(5)へ**
現行の再任用制度で希望者全員を雇用	4	→ **(6)へ**
その他	5	→ **意見・要望へ**

問30(2)及び(3)は、問30(1)で「１」又は「２」を選択した方のみお答えください。

(2) 適切と考える定年年齢（選択制の場合は、選択できる上限年齢）


歳

問30(3) 「定年年齢の引上げ」が適切と考える理由（**複数回答可**）

満額年金支給開始年齢（65歳）までの雇用が保障されるから	1
職員の意欲と能力に応じた任用や処遇が確保できると考えるから	2
人事管理の一体性・連続性が確保され組織運営の維持・管理に資すると考えるから	3
今後の再任用者数の増加を考えると現行の再任用の制度では希望者全員を65歳まで雇用する仕組みとして不十分と考えるから	4
基本的に60歳以前と同様の仕事が続けられるので、モチベーションが維持できるから	5
基本的に60歳以前と同様の仕事が続けられるので、人間関係などに気を遣うことなく仕事に集中できるから	6
基本的に60歳以前と同様の仕事が続けられるので、これまでの経験や知識を十分活用できるから	7
自分を含め周りをみても、いまの60歳台はまだまだ働けると思うから	8
少子高齢社会において高齢労働力は日本経済の維持・発展に不可欠であり、本格的に活用すべきと考えるから	9
民間企業において定年年齢の引上げの動きがある中、公務においても定年年齢を引き上げるべきと考えるから	A
その他（　　）	B

→ **問30(1)で「１」を選択した方は意見・要望へ**
問30(1)で「２」を選択した方は(4)へ

問30(4)は、問30(1)で「２」を選択した方のみお答えください。

(4) 「定年年齢の引上げ（選択制）と現行の再任用制度（短時間再任用を含む。）の併用」が適切と考える理由（**複数回答可**）

60歳以降は個々人の能力・体力・家庭状況等に応じて柔軟な働き方ができる方が良いから	1
60歳以降は個々人の能力・体力等に応じた職責の仕事をする方が良いから	2
個々人の生活設計等の状況に応じて、退職手当の受給時期を自由に選択できるから	3
その他（　　）	4

→ **意見・要望へ**

問30(5) 「定年制の廃止」が適切と考える理由（**複数回答可**）

年齢にかかわらず、能力・実績主義を徹底し、公務の能率向上を図ることができると考えるから	1
個々人の能力・体力・生活設計等の状況に応じて、退職の時期を自由に選択できるから	2
高齢化が進展する中で、年齢にかかわらず何歳までも働き続けられるようにすべきと考えるから	3
その他（　　）	4

⟶ 意見・要望へ

(6) 現行の再任用制度で希望者全員を雇用することが適切と考える理由（**複数回答可**）

大抵は60歳定年を前提にライフプランを立てており、定年後にやりたいと思っていたこともやりつつ、仕事もして、充実した定年後の生活を送りたいから	1
60歳以降は個々人の能力・体力・家庭状況等に応じて柔軟な働き方ができる方が良いから	2
60歳以降は軽い職責の仕事になる方が良いと考えるから	3
60歳以降は収入面で60歳前ほどの処遇でなくても良いと思うから	4
60歳で退職手当が受給できるから	5
希望すれば、満額年金支給開始年齢（65歳）までの雇用が保障されるはずだから	6
再雇用が主流である民間企業の状況等を踏まえるべきだから	7
その他（　　）	8

⟶ 意見・要望へ

意見・要望

再任用制度、定年制度等について意見・要望があれば、自由に記入してください。

（　　）